

日本総研 食品業界セミナー パラダイム転換後の食品業界 エンドユーザー重視の事業モデル構築を急げ！！

ご案内

食品業界は長らく不況に強い産業と言われてきましたが、超高齢社会になった日本の食品市場は構造的縮小が現実のものになってきています。一方で、世界の食品市場においては「欧米市場の成熟化」「新興国の一般消費財市場の急速な立ち上がり」の影響で農水産物から小売までのフードチェーンが世界規模で変化しつつあります。数十年間にわたる大量生産・大量消費の時代にあわせて作り上げられた日本の食品業界のビジネスモデルそのものも革新を余儀なくされています。

今回のセミナーでは、食品業界の調査・コンサルティングを行ってきた当研究所のスタッフ3名が食品業界の世界的な環境変化とそれに基づいて食品製造業、食品流通業がとるべき戦略について解説します。中長期的な事業戦略・事業計画の立案時期を迎えられている企業の皆様、是非ご参加ください。

日 時	2011年 9月29日(木) 14:00 ~ 17:30 (13:30受付開始)
会 場	住友クラブ (大阪市西区江戸堀1丁目13番10号) 地下鉄四ツ橋線肥後橋駅下車 10号出口すぐ ※裏面の地図をご覧ください
対 象	食品製造業、食品卸売業(市販用、業務用)における 経営企画担当役員、部課長クラスの皆様
定 員	30社(1社につき1~2名のご参加) ※定員になり次第受付を終了いたします
参加料	お一人につき5,000円(税込)

プログラム

セッション1: 10年後の食品業界の展望 株式会社日本総合研究所 経営コンサルティング部 副主任研究員 山本 大介	長期的な国内外の経済環境の変化を踏まえ、食品業界が受ける影響と業界全体の変化の方向性について展望します。 【主な内容】 ・ 10年スパンでみたグローバルな経済環境、国内の消費環境の変化 ・ 食品業界における国内外の動き ・ 日本の食品関連企業の戦略再構築におけるポイント
セッション2: 国内ビジネスモデルの再構築 株式会社日本総合研究所 経営コンサルティング部 主任研究員 垣岡 淳	構造的縮小が不可避である国内食品市場の動態と新たなビジネスモデルを展望し、食品製造業・卸売業の勝ち残りの方策について提言します。 【主な内容】 ・ 消費者及び小売・外食企業の動向とデマンド起点の統合型フードチェーンの構築 ・ 地域性を活かした付加価値創出と企業間連携による勝ち残り策 ・ 新たな営業・マーケティング手法の展望と実践
セッション3: アジア・グローバル市場への展開 株式会社日本総合研究所 社会・産業デザイン事業部 マネージャー 宮林 幸洋	大きな成長が期待されるアジア市場について定量・定性両面からその動向を捕捉し、日本の食品関連企業がとるべき戦略について解説します。 【主な内容】 ・ ASEAN各国を中心としたアジア市場の魅力とグローバル市場の展望 ・ 日本の強みを活かしたアジア戦略の考え方 ・ アジア・グローバル市場にあたっての留意点

お申込み要領

- ① 弊社Webサイトの所定フォームからお申し込みいただくか、受講申込書をFAXにてお送りください。後日、受講者様宛に受講票および請求書を郵送致します。尚、1週間経過しても請求書がお手元に届かない場合は、下記申込照会担当までご連絡下さいますようお願い致します。
- ② 受講料金は請求書に書かれている期日までにお振込みいただきますようお願い申し上げます。当日現金によるお支払いはお受けできません。原則として、領収書の発行は致しかねますのでご了承ください。
- ③ お申込後の取消し・受講料の払い戻しはお受けできません。お申込者のご都合がつかない場合は、代理の方のご出席をお願い致します。
- ④ セミナー会場においては、ビデオ・カセット・ICレコーダー・MD等による撮影や録音は固くお断りします。

会場ご案内



住所：
〒550-0002
大阪市西区江
戸堀1丁目13
番10号(成泉ビ
ルディング)

アクセス：
地下鉄四ツ橋
線肥後橋駅下
車10号出口よ
りすぐ

受講料(含資料代・消費税)

一名様につき
5,000円

申込照会先

(株)日本総合研究所 総合研究部門
TEL 06-6479-5530
内容照会: 山本(やまもと)
申込照会: 辻橋(つじはし)

受講料お振込先

三井住友銀行 青山支店
普通預金 No.1247510
株式会社 日本総合研究所
カ)ニホンソウゴウケンキュウシヨ

次世代の国づくり

主催:  **日本総研**
The Japan Research Institute, Limited